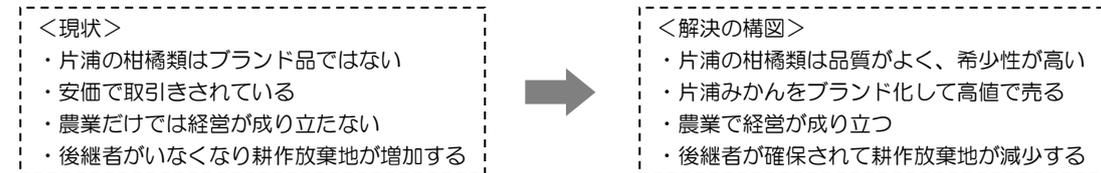


民間セクターの取組事例

1. 片浦みかん・片浦レモンサイダー

- 農商工連携により、地域資源を掘り起こし、磨き上げ、付加価値を高めて、地域の活性化と経済の振興を図っている。
- 地域の主要産業の課題解決を目指すスキームにより成り立っている。



- 実績：・早生みかんを贈答用として高価格で販売した「お歳暮みかん」は完売
- ・第2弾として考案、販売した片浦レモンサイダーも完売

2. 小田原どん

- “小田原どん”の3つのこだわり（条件）により、食材で農業や漁業、地場産業（農水産加工品）、器で地場産業（木製品）、提供で飲食店というように、地域資源を活用し、多様な産業が連携して、経済性を高めている。
- 地域資源の魅力を発信して、交流人口の拡大を図っている。

推進主体：小田原市商店街連合会、(社)箱根物産連合会、小田原市

- 条件：①小田原の海と大地で育まれた食材を一つ以上用いること【農業・漁業・地場産業（農水産加工品）】
- ②伝統工芸品・小田原漆器の器に盛って饗すること【地場産業（木製品）】
- ③お客様に満足していただき、小田原がもっと好きになるように、おもてなしすること【飲食店】



提供店：20店舗（平成23年8月現在）

- 実績：・約84,000食、約1億2,200万円（平成21年2月から平成23年1月までの累計）
- ・全国丼サミットおだわら（平成22年10月開催）には、併設イベントと合わせて、16万人来場